

クロム活用シート

3年 算数科

1. 単元名『分数』
2. 本時の評価規準
簡単な場合について、分数の加法の意味について理解し、それらの計算について説明できる。【思考・判断・表現】
3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	問題場면을捉え、児童と課題を共有する。 分数のたし算はどのように計算するか	A1 教師による教材の提示
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面に合わせて図のカードを操作し、答えを求める。 ・単元を通して活用できるポイント（単元つらぬきポイント）の「1を□等分した1つ分が○こ＝○/□」を意識して、自分の考えを持つ。 ・交流して考えを共有する。 ・計算の仕方を一般化する（同分母ならば、分子同士の加法で答えを求められる）。 	B3 図のスライドを操作し、操作活動を通して答えを求めたり、考え方を説明したりする。
終末	適用問題に取り組み、他の問題場面でも同様に答えをもとめられるか確認する。 1/○がいくつ分かを考えて、計算すればよい。分け方が同じならば、分子どうしのたし算で計算ができる。	A1 数処理に合わせた図示によるまとめ確認

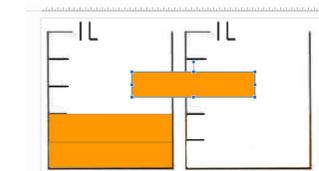
4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

II	思考力、判断力、表現力等	I	問題解決・探究における情報を活用する力
		①	必要な情報を収集、整理、分析、表現する力
			調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、観点を決めた簡易な表やグラフ等や習得した「考えるための技法」を用いて情報を整理する。

B3 思考を深める学習

使用するアプリ等 「Google スライド」

	活用の流れ
①	問題場面に合わせて図を操作し、答えを求めたり、考え方を説明したりする。
②	図と言葉と式とをつなげて、計算方法を一般化する。



分数の足し算 - Google スライド

活用の効果

- ・図に動きがあることで、説明の見通しを持つことができた。
- ・説明するときに考えを伝えることが容易になり、図と言葉と式をつなげて説明することができた。